

# 第18回 全国スカウトフォーラム 報告書



平成22年 12月25日(土)～27日  
(月)

国立オリンピックセンター記念青少年総合センター

神奈川連盟 海老名第4団 三宅 晶子

第18回全国スカウトフォーラム 日程

	第1日 12月25日(土)	第2日 12月26日(日)	第3日 12月27日(月)
-06:00		起床・洗面・清掃	起床・洗面・清掃
-07:00		朝食 <small>センター棟 4C</small>	朝食 (平行して宿泊室チェックアウト) <small>センター棟 4C</small>
-08:00		オリエンテーション <small>センター棟 414号室</small>	朝のつどい
-09:00	リハーサル他	各県連盟フォーラム(発表)	全体会Ⅱ 採択準備 <small>センター棟 414号室</small>
-10:00	スタッフミーティング 最終準備	リフレッシュメント	リフレッシュメント
-11:00		分科会Ⅰ <small>センター棟 グループ別各教室</small>	全体会Ⅲ 採択文
-12:00	受付準備 集合・受付	昼食 <small>センター棟 4C</small>	閉会式
-13:00	閉会式 <small>センター棟 414号室</small>		昼食 <small>センター棟 4C</small>
-14:00	生活オリエンテーション	分科会Ⅱ <small>センター棟 グループ別各教室</small>	参加者への連絡 <small>センター棟 414号室</small>
-15:00	アイスブレイキング		退所・解散
-16:00	リフレッシュメント	リフレッシュメント	
-17:00	フォーラムオリエンテーション (フォーラム導入)	分科会Ⅲ <small>センター棟 グループ別各教室</small>	
-18:00	夕食 <small>センター棟 4C</small>	夕食 <small>センター棟 4C</small>	
-19:00	基調講演 <small>センター棟 414号室</small>	全体会Ⅰ 各グループの発表 <small>センター棟 414号室</small>	
-20:00	今日のふりかえり	今日のふりかえり	
-21:00	宿泊室チェックイン		
-22:00	入浴 <small>宿泊棟 コミュニティ</small>	入浴 <small>宿泊棟 コミュニティ</small>	
-23:00	消灯	消灯	

## ～基調講演～

環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室長

堀上 勝 氏 (ほりかみ まさる)

生物多様性とCOP10の成果について

- ・ 生物多様性とは何か 3つの多様性について  
外来生物・森林伐採などによる自然破壊・絶滅危惧種・生物多様性がもたらす生態系サービス など

- ・ COP10 日本開催～名古屋国際会議場  
締約国179カ国13,000万人以上が参加

標語「いのちの共生を、未来へ」

“Life in Harmony, into the Future”

国連生物多様性の10年・IPBES (生物多様性版IPCC)・SATOYAMAイニシアティブ・民間参画の推進・自治体の取り組みの強化など

質疑応答

Q、「森林伐採が問題の1つになっているとおっしゃいましたが、例えばゴルフ場などを作るときに木を切っていると思うのですが、木を切った分だけお金を取るなどは行っていないのですか？」

A、「そういう仕組みがあればいいと思うのですが、現在そのような事は行っていません。」



## ～各県連盟フォーラム発表～

スカウトに3枚の付箋がくばられ、自分の連盟の名前を書き、自分の模造紙いがいで発表を聞きたいところの模造紙に付箋を貼るという形式での投票を行いました。

神奈川県連盟 “Scout Forum2010”は18票獲得で1位になり、トップバッターで発表を行う事ができました。県フォーラムのみんなで考えた事が発表できてよかったです！



## 質疑応答

Q、今実際に行っているアクションプランはありますか？

A、今このように皆さんの前で発表して、神奈川県の本チャースカウトが話し合っ  
て決めたことを知ってもらう事が、提言活動のなかに入っていると思います。

## ～分科会～

分科会4 the world Creators

第23回 世界スカウトジャンボリー (23WSJ)

基調講演で印象に残ったことなどを分科会ごとに意見をまとめました。そこから、自分たちの議題である23WSJでは何ができるのかをディスカッションして話し合いの的を絞っていきました。各自の意見を付箋に書き込み、模造紙にまとめ、問題点があるのでさらに詳しくまとめました。全員が気になったことをピックアップして、その原因と解決策を付箋に書き、23WSJにつなげていくにはどうするかを話し合いました。

基調講演を中心に考えすぎてしまって、話し合いが詰まってしまったので23WSJにもう一度焦点をあて再度話し合いをしました。時間よりも早く話し合いが終わる事が多かったのですが、雑談のなかで話が出ていたものに全員興味をもち話が発展していたものがあつたので、それを23WSJに向けてどうするかを討議しました。

一度話がでていて、みんなで情報をシェアできていたので時間ぎりぎりまで話し合いをかさねて、the World Creatorsの採択文・アクションプランができました。



## ～全体会 2日目～

全体会を始める前に各グループから議長団を選出し、集まった8人で次の日の役割などを決めました。

議長：岡山県連盟 小山 徹 副議長：埼玉県連盟 富岡 周泰 書記：神奈川連盟 三宅 晶子 他タイムキーパー・テイラー・マイク渡しなど決めました。議長団を決めるなかで、議長と副議長をやりたい人が大半で決まるまでに時間がかかりました。

2日目最初の全体会では、スタッフが進行をして議長団は3日目の全体会に向けての練習というかたちで行いました。

全部で8つの分科会があり、「Global Warming（地球温暖化）をはじめとするGlobal Environment（地球環境）」について分科会1・2、「The 23ed

World Scout Jamboree」について分科会3・4、「Leadership」について分科会5・6、「Scouting and Technology」について分科会7・8がそれぞれのチームで決めたことをすべて発表し、同じテーマで発表した2つの分科会が集まってお互いの採択文・アクションプランや提言文をまとめて行くために話し合いをしました。

23WSJでは、両方のアクションプランで1番やりたいことを出し、それを言葉で繋げていき1つのものにしていきました。アクションプランに時間がかかってしまい、採択文は全体



会が終わったあと議長団が草案を作るときに23WSJの議長・副議長と議長団に出ている2人、計4人で話しをまとめて、23WSJの草案を作りました。

## ～全体会 最終日～

議長団のまとめた草案を発表しそれを元に質疑応答・修正などの話し合いを全体で行いました。

質疑応答では、自分たちが話し合った事が入っていない、そのアクションプランは限定されているがそれだけなのか、などの質問があり、質問された議題について担当していた議長団の人が答えるなどして進めていきました。ですが、全体的に議長団の議事進行がうまく行かずに質問の答えになっていないなど、時間配分通りに進まずグダグダだなという印象が残ってしまいました。

修正の意見も抽象的で話がまとまらないといった事があり、時間が迫ってしまい駆け足の全体会にましました。

ですが、最後は時間ぎりぎりに全員一致で第18回全国スカウトフォーラムの採択文・アクションプラン・提言文ができました。

～開会式・閉会式～

開会式

開会式では、スタッフ・アドバイザー紹介などをして終わりました。

その後の生活オリエンテーションで、全体の流れやフォーラムの進め方などを説明し、アイスブレイキングから本格的に分科会内のスカウトが打ち解け始め、その後のフォーラムに入っていました。

閉会式

閉会式では、フォーラムの提言の報告を、スカウトを代表して議長から新藤日本連盟コミッショナーに報告をし、フォーラムの講評を膳師実行委員長からお話いただき、その後日本連盟挨拶というところで新藤日本連盟コミッショナーにお話いただきました。

～第18回全国スカウトフォーラムを振り返って～

県フォーラムから、投票で全国フォーラムにでられることが決まり、選んでくれた人・立候補した人たちの分まで充実したフォーラムになるといいなと思っていました。ですが、日にちが近づくにつれてプレッシャーや不安・期待感など複雑な気持ちでした。

全国フォーラムまでの宿題として、県フォーラムのフォーラム内容を模造紙にまとめるといふものがあり、前回資料で投票上位の県連盟が発表できると書いてあったので、みんなで決めたことをフォーラムで発表するということを目指して模造紙を作りました。

模造紙は、見やすさと目立つように工夫をして作り、自分の中ではかなりの力作が出来たので、投票で1位になった事が分かった時は本当にうれしかったです。

チームでは、最初は全く会話もありませんでしたが、時間がたつにつれて仲良くなっていったので、改めてスカウト同士の絆ってすごいなとおもいました。2日目からはチーム関係なく、休憩時間にはみんなでいろいろな話をして、その県独自の文化を

話して驚く事がたくさんあり国内カルチャーショックがたくさんありました。普段国内でカルチャーショックをうけることがないので、これは全国フォーラムならではだと思えます。

議長団を決めるときは、各チーム1人だったので行きたい人同士話し合いで解決してよかったなとおもいました。その人の分まで議長団を頑張ろうと思い、書記になりました。議長団では、前で話をしている人の態度が悪くて最初は議長団以外のスカウトにとっても不快な思いをさせてしまいました。書記としては、パソコン操作に手間取り、途中でパソコンを交換していただきました。議長団に対する不満もあったと思いますが、議長団はそれぞれの役割でも“全体会を成功させる”という気持ちは1つだったので、最後までくじけずにやり遂げる事ができました。

最後に、フォーラムを終えて新しいスカウトの輪が広がったことと、フォーラム実行委員・スタッフ・アドバイザー・フォーラムに関わってくださった皆様に感謝しています。

そして、隊長を始めとする神奈川連盟の皆様・県フォーラムのみんな・周りで支えてくれたすべての人に感謝しています。

本当に素敵な全国フォーラムを体験して、無事に終わる事ができました。



ありがとうございました。

## 第 18 回全国スカウトフォーラム

私たち、第 18 回全国スカウトフォーラム参加者は国立オリンピック記念青少年総合センターでの 2 泊 3 日にわたる議論を通し、「Creating a Better World」のテーマのもと、全国のベンチャースカウトが具体的なアクションを起こすべく、以下のことを採択し提言します。

### 採択文

- (1) Global Warming (地球温暖化) をはじめとする Global Environment (地球環境)  
地域の人々に人間と自然が共生することに興味をもってもらおう！！

#### アクションプラン

- 前回の第 17 回全国スカウトフォーラム実施後は、「エコフェスタ」という言葉が独り歩きする状態で、採択文に具体的な内容がまったく記されていないことを鑑み、
- ・ 第 19 回全国スカウトフォーラムまでに、各県連盟ごとのベンチャースカウト主催で「啓発イベント」を開始し、地域の人々のエコ意識を高めていく。「啓発イベント」では、エコキャップの活動や、スカウトのエコ活動の宣伝と自然との共生の宣伝をする。
- ・ 「啓発イベント」を通して高まった意識を「体験型イベント」を実施することにより、さらに向上させる。「体験型イベント」では、古紙再生、EM 菌石けん・リサイクル石けん作り地産地消の自然共生を体験できるイベントを行い、一般の人を楽しみながらエコを知ってもらおう。イベントの形は、県連盟の状況により、イベントやウォークラリー等のどの形式で行ってもよいこととする。



## (2) The 23rd World Scout Jamboree (第23回世界スカウトジャンボリー)

海外のスカウトとうまくコミュニケーションをとるために、スカウトの「和」を広げよう。

国内スカウトの和（まとまり）を強め、世界に日本の和（文化）を知ってもらい、世界の和（平和）に関心を持ちスカウトの和（繋がり）を築こう。

### アクションプラン

- ・全県連盟がWTW（ウェルカム・ザ・ワールド・プロジェクト）に参加していることを前提にして、各県連盟のベンチャースカウトがWTWの相手国と2015年の第23回世界スカウトジャンボリーまでにインターネットや手紙などの通信手段を通じて、各都道府県や日本の文化を紹介し、相手国の文化を紹介してもらう。
- ・ベンチャースカウトがリーダーシップをとり全県連盟で協力して2015年の第23回世界スカウトジャンボリーで海外スカウトとの交流の手助けとなり、その後のスカウトの交流を促進させるために「和ッペン」シリーズを製作する。
- ・ベンチャースカウトが中心となり、各県連盟での案をまとめ、統一化し、共有するための「プロジェクトチーム」をつくる。
- ・インターネットやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して、海外に「和ッペン」シリーズの宣伝をする。

## (3) Leadership (リーダーシップ)

自分の理想とするリーダー像を目指す!!

### アクションプラン

- ー全てのスカウトに頼られるベンチャースカウトになるために
- ・ベンチャースカウトがグリーンバーに2011年8月末までに、身近な活動単位である各地区ごとに「グリーンバー訓練キャンプ」を企画・計画し、ベンチャーへの講習会を開き、実践し、評価反省を行う。初めてやる人に対しての講習会を開く。
- ・ベンチャースカウトが自分たちの社会的技能、野外活動技能を高めるために「グリーンバー訓練キャンプ」を継続して実施する。

#### (4) Scouting and Technology (スカウティングとテクノロジー)

Technology for tying friends. [友達をつなぐテクノロジー] を日本のボーイスカウト活動の独自色とし、地域間のスカウトの交流を促し活動を活発化させる。

##### アクションプラン

- 現状は、各団、各県連ごとにホームページやブログの有無に大きなばらつきが存在している。県の活動などで知り合ってもその後、交流が続かない事が多いため、地域間の活動の幅に大きなばらつきがあり
- 他地域の意見を聞くことにより、より良い活動につなげていくため、
  - ・アフターフォーラム後の隊単位での会議、活動内容をインターネットで発信し、他団のスカウトと意見交換をする。
  
- 地域間スカウトの交流のために所属団の活動を知ってもらい、広報活動の活発化により加盟員の増加や地域、世界基準のボーイスカウトになる
  - ・ベンチャー隊が中心に団でホームページ又はブログを作り更新する。
  
  - ・通信機器を利用し、他地域の個人間での交流を促進する。
  
- 掲示板という比較的に手軽に話す機会を作ることで、地域ごとの活動の格差を是正し、他団、他県連盟のスカウトとの交流、活動を促進するため、
  - ・2011年12月から2012年12月までの期間を目安に、各都道府県でホームページや掲示板を作り、積極的に更新する。

## 提言文

### (1) Global Warming (地球温暖化)をはじめとする Global Environment (地球環境)

- ・各県連盟に対して「啓発イベント」と「体験型イベント」の実施に必要な費用や物品等の支援を依頼する。
  - ・日本連盟ホームページ上での「啓発イベント」と「体験型イベント」の宣伝を依頼する。
- スカウト主催の活動であるため、スカウト自身が環境への意識を高めるとともに、正しい知識が必要とされる。しかし、既存の環境衛生章では地球環境を根本的に理解する項目がない現状を鑑み、
- ・2012年までにスカウトのエコ意識向上のための技能章「環境保護章」を新設することを提言する。

### (2) The 23rd World Scout Jamboree (第23回世界スカウトジャンボリー)

- ・各県連盟はベンチャースカウトの「和ッペン」作りを派遣隊交換グッズのうちの1つとして取り入れ、その作成にあたっての物的、金銭的な補助をすることを依頼する。
- ・各県連盟ごとで成人指導者を含めた「プロジェクトチーム」を補助する機関を設置することを依頼する。
- ・日本連盟にWTWのような海外スカウトと交流する機会（「和ッペン」シリーズを宣伝する機会）をさらに設けることを提言する。

### (3) Leadership (リーダーシップ)

- ・各地区ごとに「グリーンバー訓練キャンプ」を行うための金銭的・物的援助、また、運営スタッフとしての協力などを各地区の指導者に依頼する。

### (4) Scouting and Technology (スカウティングとテクノロジー)

- ・日本連盟のホームページリンク集の作成、編集を行うことを提案する。対象は県、団ホームページ、ブログ（ブログは個人のも含む。）とする。
- 現状として、目的の地域ごとにボーイスカウトのWebサイトに到達できない、または検索に時間がかかる事が多い。また、JOTI（ジャンボリー・オン・ザ・インターネット）は公用語が英語であり、英語力が乏しいスカウトには敷居が高いことを考慮し、
- ・毎年、チャットスペースを作り、JOTIを手本に、「日本インターネットジャンボリー（仮称）」を開催することを提言する。

第18回全国スカウトフォーラム参加者一同  
平成22年12月27日

議長 小山 徹

副議長 畠 周

書記 三宅 晶子